

第3期中期計画期間における経営改善推進事業債の活用

令和7年度第5回評価委員会
資料3

第3期中期計画期間予算額（4年間累計） 約14億9,200万円

【目的】

新体制のもと、第3期中期計画に掲げる「病床機能の最適化」「費用構造の適正化」「職員の採用・定着支援」「医療DX」などの経営改革を推進しながら、医療安全と医療提供体制を維持するためには資金繰りの安定化が必要となるため。

また、法人が返済責任を負うことにより、KPI（重要業績評価指標）に基づく進捗管理と説明責任を強化するため。

【概要】

- 経営改善推進事業債とは、収支改善に取り組む公立病院の資金繰りを支援し経営改善を促進するための総務省所管の財政措置の一つである。
 - ・発行可能額：資金不足額を上限とし、経営改善の取組によって改善する額
 - ・償還期間：15年以内
- 法人としては、限度額である約14億9,200万円を借り入れ、15年で返済する計画。なお、据置期間や返済条件によって資金繰りに変動が生じる可能性がある。

【効果】

- 経営改革期での資金不足を回避し、病院としての機能低下（救急受入制限など）を未然に防止することができる。
- 「病床機能再編」「委託業務の内製化」「非常勤職員の見直し」などの経費削減を計画どおり実行する。
- 法人が返済責任を負うことで規律と覚悟を明確にし、KPIに基づく進捗と成果を「見える化」することにより説明責任を果たす。

【資金収支】

（単位：百万円）

年度	2026	2027	2028	2029	累計
項目	(R8)	(R9)	(R10)	(R11)	
資金収入	6,099	6,330	6,044	6,077	24,550
資金支出	7,035	7,255	6,967	7,024	28,281
資金収支	▲936	▲925	▲923	▲947	▲3,731
経営改善事業債	1,492	0	0	0	1,492
市からの支援	0	0	1,150	1,089	2,239
前年度繰越金	915	1,471	546	773	—
現金残高	1,471	546	773	915	—

注）それぞれ四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある